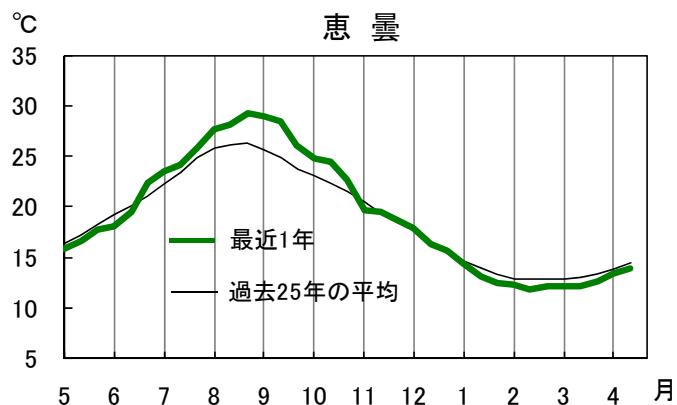
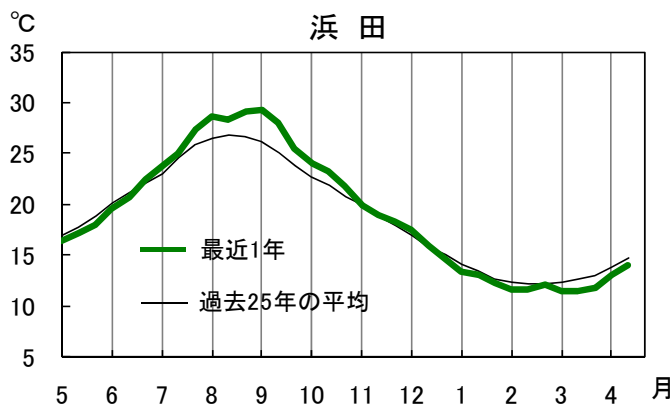




《3～4月の海況》

3月	月平均	平年差	評価
浜田	11.6℃	-1.0℃	はなはだ低め
恵曇	12.3℃	-0.7℃	やや低め

沿岸定地水温は、3月は浜田地区では「やや低め～はなはだ低め」、恵曇地区では「やや低め～かなり低め」と低め傾向で推移しました。4月に入り中旬時点では、両地区ともその傾向は和らぐものの「やや低め」で経過し、低め傾向が継続しています。



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類を主体にマアジが混じる漁況でした。例年この時期に漁獲のあるカタクチイワシやウルメイワシはほとんどありませんでした。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではカタクチイワシを主体に、マアジ、サバ類も漁獲されました。カタクチイワシは全体量の58%を占め、漁獲量は平年並み（平年比109%）でした。サバ類は全地区でまとまって漁獲され、その漁獲量は平年の7.4倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年の2.1倍で平年を上回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）での漁獲はありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は14.1トンと前年・平年を上回り、好調に推移しました。また、キダイが好調に推移し、平年の3.1倍の漁獲がありました。さらに、アカムツ、アナゴ類が平年の1.7～1.4倍の漁獲がありました。ムシガレイ、ソウハチは前年の7割の漁獲となりましたが、平年並みで推移しました。一方、近年春漁が低調であったケンサキイカがまとまり、前年の5.5倍の漁獲がありました。

【小型底びき網漁業】

和江ではソウハチ、ヒレグロ、久手ではソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、両地区とも平年を上回りました。両地区とも、ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイは平年の3.6～1.6倍の漁獲があり、好調に推移しました。また、和江地区ではキダイが好調で、平年の2倍の漁獲がありました。一方、アンコウ、アナゴ類は平年の7～8割の漁獲に止まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、ウルメイワシ主体の漁況で、その1統当りの漁獲量はマアジが前年の3.9倍、さらに近年漁獲が殆ど無かったウルメイワシが漁獲されたことから、全統の総漁獲量も前年の1.5倍でした。出雲地区ではスルメイカが総漁獲の4割を占め、その1統当りの漁獲量は平年なみであったため、全統の総漁獲量も平年なみでした。隠岐地区でもスルメイカが総漁獲の6割を占め、その1統当りの漁獲量は平年の8割でしたが、マアジが平年の1.4倍など他の魚種が平年を上回ったため全統の総漁獲量は平年の1.3倍でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、サワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は29kgで平年並みでした。出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は37kgで平年並みでした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類、スルメイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は28kgで平年並みでした。また、各地区とも時化の影響により水揚げ日数が平年の6割程度でした。

【平成23年3月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	サバ類、マアジ	285トン	62%	65%	23.7トン	78%	98%	○
	西郷	カタクチイワシ、マアジ	4,548トン	342%	127%	61.5トン	157%	103%	○
	浦郷	カタクチイワシ、サバ類	3,462トン	279%	132%	61.8トン	159%	126%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	77トン	502%	153%	789 kg	195%	208%	◎
	西郷	—	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マフグ	338トン	110%	88%	14.1トン	120%	114%	◎
小型 底びき網	久手	ソウハチ	163トン	132%	104%	701kg	130%	113%	◎
	和江	ソウハチ、ヒレグロ	372トン	143%	144%	965kg	139%	133%	◎
定置網 (大型)	浜田	ウルメイワシ	2トン	—	—	1,138Kg	—	—	—
	美保関	スルメイカ、マアジ、ヤリイカ	40トン	116%	83%	428Kg	114%	82%	▲
	浦郷	スルメイカ	16トン	249%	99%	651Kg	228%	105%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ類	16トン	70%	102%	52 kg	72%	121%	○
	大社	ブリ	11トン	22%	21%	25 kg	26%	37%	▲
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	2トン	83%	48%	19 kg	75%	87%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした